映像信号搬送波のレベルと一ヘルツ当たりの妨害信号のレベルLとの差は、次の式の値以下であること。

なお、fは映像信号搬送波周波数と妨害信号の周波数との差（MHz）とする。

・fが−2.17MHz以下の場合：$L=-78.7$［dB／Hz］

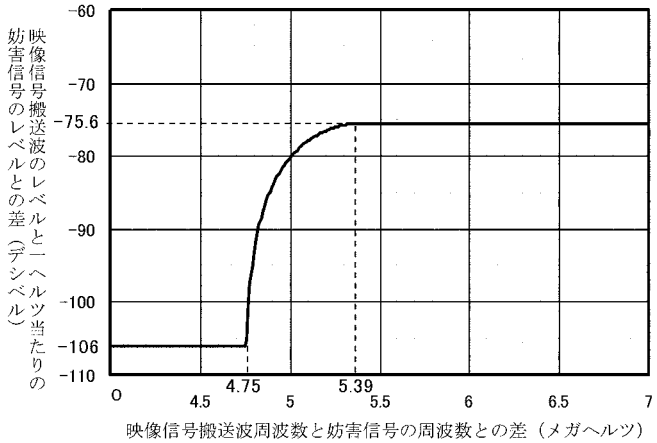
・fが−2.17MHzを超え−1.29MHz未満の場合：

$$L=-78.7+20\log_{10}\left\{\sqrt{\frac{1}{2}\left(1-\sin\left(\frac{\pi}{2}\times\frac{2(f+4.25)-f_0}{\alpha\cdot f_0}\right)\right)}\right\}\quad[\mathrm{dB/Hz}]$$

ただし、$f_0=5.057$［MHz］、$\alpha=0.18$

・fが−1.29MHz以上の場合：$L=-106$［dB／Hz］

別図第五号　標準テレビジョン放送方式の上側周波数のスペクトルマスク



映像信号搬送波周波数と妨害信号の周波数との差（メガヘルツ）

映像信号搬送波の尖頭値を基準値（０dB）とする。

映像信号搬送波のレベルと一ヘルツ当たりの妨害信号のレベルとの差は、次の式の値以下であること。

なお、fは映像信号搬送波周波数と妨害信号の周波数との差（MHz）とする。

・fが4.75MHz以下の場合：$L=-106$［dB／Hz］

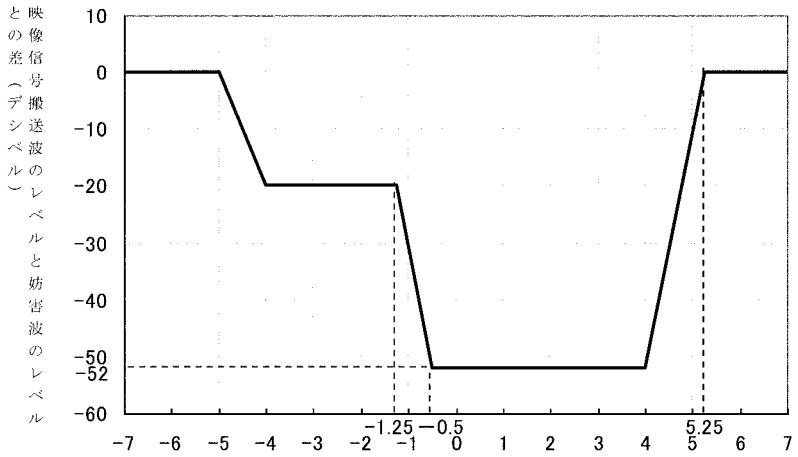
・fが4.75MHzを超え5.39MHz未満の場合：

$$L=-75.6+20\log_{10}\left\{\sqrt{\frac{1}{2}\left(1+\sin\left(\frac{\pi}{2}\times\frac{2(f-7.75)+f_0}{\alpha\cdot f_0}\right)\right)}\right\}\quad[\mathrm{dB/Hz}]$$

ただし、$f_0=5.361$［MHz］、$\alpha=0.12$

・fが5.39MHz以上の場合：$L=-75.6$［dB／Hz］

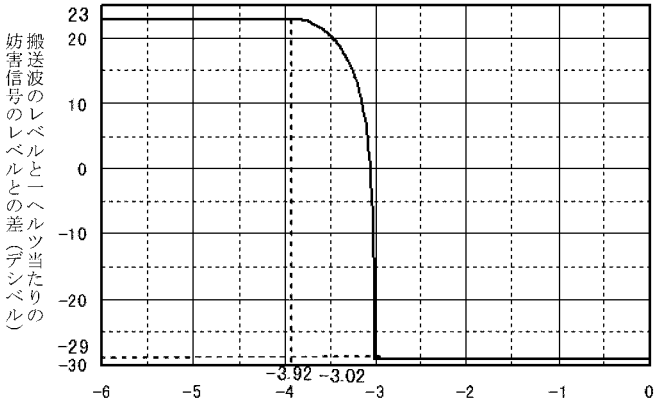
別図第六号　標準テレビジョン放送方式のスペクトルマスク



映像信号搬送波周波数と妨害信号の周波数との差（メガヘルツ）

映像信号搬送波の尖頭値のレベルを基準値（０ｄＢ）とする。

別図第七号　デジタル有線テレビジョン放送方式となっている有線テレビジョン放送等（搬送波の変調の型式が六四値直交振幅変調となっているものに限る。）の下側周波数のスペクトルマスク



搬送波の中心周波数と妨害信号の周波数との差（メガヘルツ）

一ヘルツ当たりの搬送波のレベルの平均値を基準値（０dB）とする。